

国立健康・栄養研究所において日常生活のエネルギー消費量測定の研究に参加された皆様へ

国立健康・栄養研究所 栄養・代謝研究部では、これまで本研究所で行われた二重標識水を使用してエネルギー消費量を測定する研究において、測定されたデータを使用した研究を以下のように行います。今回のお知らせの後、12月12日までに過去のデータの研究使用を許可しない旨のお申し出がない場合には、ご同意をいただいたものとしてデータを使用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

過去のデータの使用を希望されない場合、また、本データベース構築に関するご質問は問い合わせ先へメールまたは電話等にてご連絡ください。

二重標識水法により測定した日本人のエネルギー消費量のデータベース構築とエネルギー消費量への影響要因に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2001年より国立健康・栄養研究所で二重標識水を用いたエネルギー消費量の測定（安定同位体を含む水を飲んでいただき、その後、ご自宅等で採尿をお願いした測定です）に参加した方（対象となる研究一覧は本資料の最後に記載しています。また、入院中の患者様を対象とした測定は含んでいません。）

2. 研究目的・方法

エネルギー消費量には性別、年齢、身体組成、生活習慣、職種等様々な要因が影響します。今回は、これまでに本研究所で測定したデータをすべて統合することにより、幅広い年代、様々な生活習慣の方のデータを対象に、エネルギー消費量に影響する要因を検討します。本研究では、これまで測定したデータすべてについて個人情報を削除し、匿名化したデータベースを作成します。今回、本研究において年齢・性・職業・身体組成等とエネルギー消費量の関係の検討及び各種の質問紙や加速度計で評価した身体活動量との関係を検討する予定です。また、今後、二重標識水法によりエネルギー消費量を測定する研究においても、今回作成したデータベースを比較対照群等として活用させていただきたいと考えています。

研究期間

2019年10月4日～2025年3月31日

上記の研究期間終了後以降もデータは個人が特定できない状態で、今後の研究のために長期的に保管する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の項目

- ・年齢
- ・性別
- ・身長

- ・二重標識水投与前と調査終了時（1週間後または2週間後）の体重（インピーダンス法による身体組成を含む）
- ・健康状態の問診（介護度、日常生活自立度を含む）あるいは調査時に提供いただいた直近の健診データ
- ・二重標識水法の測定データ（飲んでいただいた二重標識水の量、尿サンプルの採尿時間、飲んでいただいた二重標識水及び尿サンプル中の酸素及び水素の安定同位体比、それらに基づいて計算した計算値）
- ・加速度計による身体活動量調査データ（実施者のみ）
- ・質問紙による身体活動量調査のデータ（職種を含む）
- ・体力測定データ（歩行速度、握力）（実施者のみ）
- ・食事調査データ（24時間思い出し法、秤量法、食物摂取頻度調査のうちの1つまたは複数）

4. 試料・情報を利用する者の範囲

国立健康・栄養研究所 栄養・代謝研究部 高田和子、田中茂穂

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

データが当該研究に用いられることについて、研究に参加されたご本人もしくは参加当時未成年であった方の保護者の方、研究に参加された方が現在、適切な判断ができない場合は代理の方からの申し出により、データ使用にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立健康・栄養研究所 栄養・代謝研究部

栄養ガイドライン研究室 高田 和子

e-mail: kazu@nibiohn.go.jp Tel: 03-3203-5603

6. 対象とする研究一覧

	研究課題名	研究代表者名	実施期間	対象者
(1)	日本人におけるエネルギー代謝測定のための実験	柏崎浩	2001年10月～ 2004年3月	20歳以上男女で様々な生活活動強度をもつ者
(2)	幼児の日常生活のエネルギー消費量の測定	柏崎浩	2002年4月～2003 年3月	3～6歳の健康な幼児
(3)	フィールドを対象とした成人の日常生活のエネルギー消費量の測定	田畑泉	2003（平成15）年 4月～2004年3月	20歳以上60歳未満の健康な成人男女
(4)	エネルギーバランスの変動をもたらす日常生活環境要因の定量化に関する研究	柏崎浩	2004（平成16）年8 月～2005年3月31 日	健康な50～69歳の閉経後女性
(5)	各種年代・活動レベルの対象における身体活動量の把握	高田和子	2004（平成16）年 7月～2009年3月	幼児・小学生、大学生から高齢者まで様々な生活内容にある

	及び簡易な身体活動量調査方法の評価に関する研究			人
(6)	各種年代・活動レベルの対象における身体活動量の把握及び簡易な身体活動量調査方法の評価に関する研究	高田和子	2009（平成 21）年 3 月～2017 年 6 月	18 歳以上の男女、性別・年代・職種別
(7)	現代の子どもの生活スタイルと身体活動レベル（PAL）に関する研究	高田和子	2009（平成 21）年 6 月～2014 年 3 月	3～17 歳の幼児・児童・学生
(8)	佐久肥満克服プログラム	渡邊昌	2006（平成 18）年 7 月～2013 年 3 月	佐久総合病院人間ドック受診者のうち、最終受診時に BMI が 30 以上であった 40～64 歳